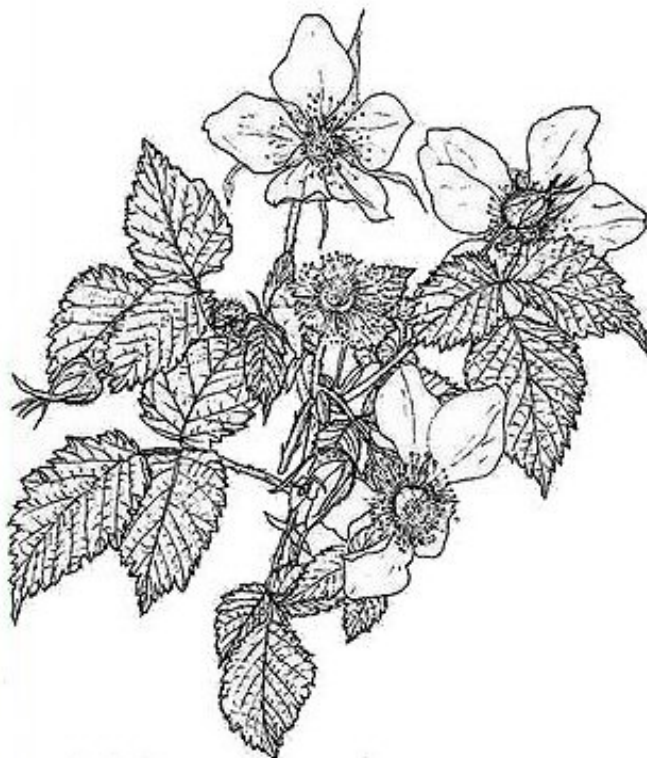


稲城野草散策の会

野草スケッチ クサイチゴ（バラ科）



1997/04/14

稲城市坂浜

絵と文 Ta

クサイチゴは木苺の仲間だ。
他の木苺と同様、実は食することができる。
しかし、なぜかあまり人気がない。
モミジイチゴが木苺の代表のように言われる。

クサイチゴは草のように見えるが、れっきとした木本である。

会報第16号 2006年4月23日発行 発行責任者 尼子 房夫

背丈がせいぜい50cm程度なので、草扱いされているのだ。
農道などの道端に生えていることが多い。
実が熟すところには土ぼこりをかぶっていたりする。
ちょっと、食べようという気になりにくいのかもかもしれない。

多摩丘陵に生えている木苺の中では、クサイチゴの花が一番大きい。
いい花だと思うが、花の人気もモミジイチゴに及ばない。
人気の秘密は、花の咲くタイミングと関連があるように思う。
モミジイチゴは早春、サクラよりも早く開花する。
まだ草も木も冬眠から目覚めないうちに花をつけるため、注目を浴びるのだ。
それに引き換え、クサイチゴはサクラが終わってからぼちぼち咲き始める。

クサイチゴにしてみれば、人間界でのランク付けなどは関係がない。
昆虫に人気があればそれでいいわけである。
そうはいっても、他の花が一斉に咲き始めてからでは、昆虫もいそがしがって来てくれないのでは、と余計な心配をしてしまう。
まして背が低く目立ちにくいから・・・

ところがよくしたもので、見ていると昆虫がひっきりなしに訪れる。
暖かくなって昆虫が活発に動き出す時期にあわせて花期を決めているのだろうか。
肌寒い日もある早春よりも、その点では有利にちがいない。
しかも、こういう上向きでしかも花弁が大きい花は昆虫がとまりやすくできている。
受粉が終わった花は、役目が終わった花びらをすばやく落として店じまいをする。
クサイチゴは午前中に咲き始めても、昼頃にはたいてい受粉が終わってしまうようだ。
中には午後から咲き出す花もあるが、その日のうちに受粉ができるのだろうか。

このスケッチは稲城市坂浜にある高勝寺の近くだった。
高勝寺はボタン園として有名だったが、ボタン園は数年前から閉園されている。
朝、クサイチゴが咲いていることを確認しておいた。
他を回って、午後からスケッチしようと来てみたら、すでに花は終わっていた。
スケッチは翌日に出直して行った。
そんないきさつがあって、昆虫たちには人気が高いことがわかったのだった。

スケッチしているときに子供が寄って来た。
村人といってよいような素朴な子供たちである。
「わー、絵描きさんだ。本物の絵描きさんだよ」
「ここへ絵描きさんが来たのははじめてだ～」
口々に歓声を上げている。

私も子供たちには人気なのか。
なんとなくおかしかった。

〔観察記録〕 3月19日 裏高尾・日影沢

昨年に続いて今回も日本植物友の会の山田副会長にご案内をお願いしました。今年の参加者は49人でした。入り口の橋のたもとから溪流に沿って新しく出来た観察道を通して奥まで行くと、ハナネコノメの花がまだ咲いていました。ここ数年、時期がずれて花を見ることが出来なかったのですが、今年は赤い葯がまだ残っていて、写真を撮る方を喜ばせました。引き返してウッディハウスの広場まで観察して歩き、昼食の後、林道を奥まで歩いて再び戻って来るというコースでした。天気は晴れていたのですが、昼食時だけ少し降られました。

スプリングエフェメラルが中心でしたが、ニリンソウ、アズマイチゲ、キクザキイチゲなどのイチゲの仲間、ネコンメソウ、ヤマネコノメソウ、ヨゴレネコノメ、ハナネコノメなどのネコンメソウの仲間、スミレの仲間、ユリワサビ、コチャルメルソウ、トウゴクサバノオ、オニシバリの花などが観察出来ました。(FAM)

〔行事記録〕 4月1日～2日 葦毛湿原一泊観察会

◇スケジュール

4月1日(土)

新宿発(7:00)

葦毛湿原(昼食後、観察)

宿舎到着

希望者で石巻山散策

夕食後、を使って葦毛湿原の植物、

当日撮影した植物の復習会

4月2日(日)

宿舎出発

藤七原湿地

メックンハウスで、昼食

花、伊河津でのシデコブシ自生地

観察

現地発、一路新宿へ帰着

◇皆さんから頂いた感想文の一部です

初日は、バスの中から沿道の花見を堪能し、葦毛湿原では、クロバイ、スミレの仲間、ショウジョウバカマ、ハルリンドウ、イワタカンアオイの花、リンボクなどいろいろ観察出来ました。夕方、宿の着いてから石巻山のヤマアイ、オドリ

コソウを観察に行かれた熱心な方もありました。露天風呂からの花見も良かったですね。夜の勉強会も大変に有意義でした。翌日はあいにくの雨模様でしたが、栴（なぐさ）のシデコブシの自生地は、迫力がありましたね。（尼子）

一日目と二日目を入れ替えて大正解でしたね。今日は雨でしたが、自生の、自由に伸び伸びとしたシデコブシを堪能できました。昼間に観察したものを夜パソコンで再び見られるのは、いいですね。見落としているのをフォローできるし、忘れっぽい頭にいれるためにもいいアイデアですね。（なぎ&くに）

我が家のシデコブシしか知らなかった私にとってエッ！という驚きでした。樹の姿の違いに本当にびっくりしました。花は同じでも樹の表情が、はじらいがち？それとも 拗ねてる？ というか、何かを語りかけてくれるような、懐かしさのようなものを感じ、それも含めて色の素晴らしさ、可愛らしい姿を堪能しました。それにしても雨の中、最後に見た水辺のシデコブシは圧巻でした。自然って本当に素晴らしい！（佐久間 澄子）

早春の葦毛湿原は、とても素晴らしかったです。ハルリンドウにショウジョバカマ、2種のカンアオイと数タスマシたち... 特にマキノスミレは見事でした。翌日の渥美半島では自生するシデコブシの姿をしっかりと目に焼き付けることが出来ました。植栽したものしか見たことがなかったので、本来の環境で花を咲かせるシデコブシが実に新鮮でした。白いものから濃い桃色のものまで混成して咲いているとは思いませんでした。（齋藤）

葦毛湿原で見た、マキノスミレ、実に良いスミレで好きな花の一つに成りました。また、ショジョウバカマを山でしか見たことの無い私は、低地で沢山見られたのにはビックリ。植物園や公園で見たシデコブシとあまりにも違う樹形にビックリし、色も白から濃いピンクまでいろいろあるのにまたビックリしました。などなど、実に有意義な観察会でした。（林 英昭）

今回もマキノスミレがよかったですね。私からの連絡が悪かったため、西表のスライドショーは実施できなくなり、皆様には申し訳ないことをしました。その代わり、葦毛湿原の成り立ちや変遷、課題などについて吉田さんから講義していただいて、前回来られなかった人は（来た人も）なんだか得をした気分(^_^)だったと思います。（広沢）

花の名を知るだけでなく、自生する環境を体感する大切さを改めて感じました。葦毛湿原 forever and ever！（川内野 姿子）

帰りのバスでFAMさんがおっしゃっておられました「来年の葦毛は6月」を今から楽しみにいたしております。「東海丘陵要素」という少しマニアックな響きも良いですね。思いっきり楽しんだのにこの言葉のお陰で「勉強しました」的に腑に落ちる感じがします。これからも良い子は勉強にいそしみます。（高田）

〔行事予定〕 2006/4/23 (日) 裏高尾・小下沢

項 目	説 明
集 合	am10時、日影沢の橋付近（今回は高尾駅ではないのでご注意ください）
交 通	JR中央線快速、特別快速 高尾行きまたは京王線高尾 山口行きをご利用下さい JR中央線高尾駅北口から バスで日影バス停まで来て 日影沢の橋に集合して下さい バスは9時29分、46分 があります（220円）
行く先 （解散場 所）	裏高尾・小下沢の溪流沿い の道、林道を歩きます 日影バス停 pm3時頃解 散予定定
地図	
コース	日影沢の橋→小下沢林道を奥まで歩き同じ道に戻って来ます→日 影バス停（解散・・・15時頃）（上の地図を参照ください） コースは天候その他により変更する場合があります
見所 その他	見られそうな花：スミレの仲間、ネコノメソウの仲間、イチゲの仲間など

※ 小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

2006/4/30 (日) 三沢川下り

項 目	説 明
集 合	am10時、京王相模原線・若葉台駅 改札口付近 ※会旗目標 若葉台駅の改札口は一個所だけです
交 通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で5駅目 小田急、多摩モノレールの場合は、多摩センター駅で京王線に乗換えて2駅目 若葉台駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	若葉台駅から三沢川に沿って稲城駅まで歩きます。 稲城駅 pm4時頃解散予定
見所 その他	三沢川流域には雑木林や谷戸田など、豊かな自然が残っています ジロボウエンゴサク、イチリンソウ、タマノカンアオイ、クチナシグサ、ノジスミレ、ゲンゲ、ふれあいの森でヤマルリソウなどの花が見られると思います
地 図	
コース	若葉台駅→稲城高校前→稲城キャンプ村 (ふれあいの森) 周辺→天神台→高勝寺→清水谷戸→駒沢学園→百村→京王稲城駅 (解散) 行程5～6 km、アップダウンはほとんどありません コースは天候その他により変更する場合があります ご用のある方は途中で抜けても構いません

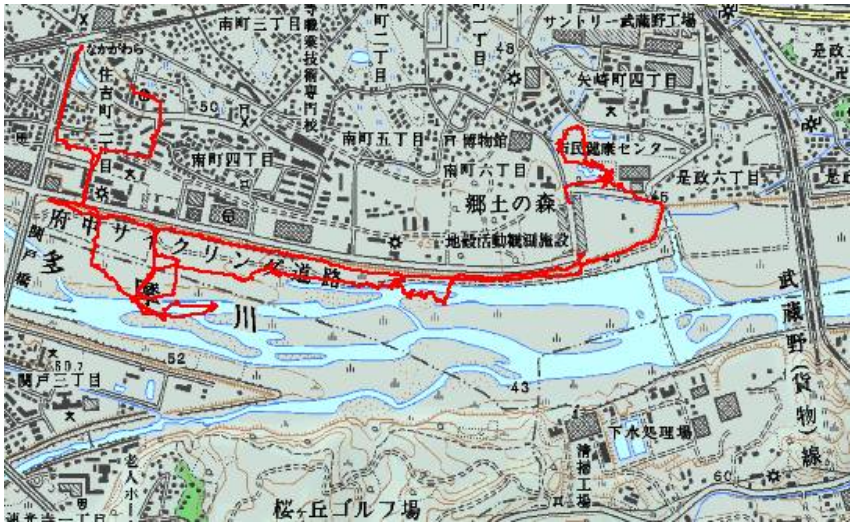
※ 小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

〔行事予定〕 2006/5/21（日） 芦ヶ久保

項 目	説 明
集 合	am10時、10分 西武池袋線・芦ヶ久保駅 改札口付近 ※会旗目標 改札口は一箇所です
交 通	快速急行に乗り芦ヶ久保駅下車（池袋から直通あり） 池袋08:36→所沢09:01→飯能09:26→東飯能09:28→芦ヶ久保 10:08 が便利
行く先 （解散場所）	芦ヶ久保・日向山 西武池袋線芦ヶ久保駅 pm3時半頃解散予定
地図	
コース	芦ヶ久保駅～フルーツガーデン駐車場～農村公園入口～山の花道 駐車場（昼食）～日向山～琴平神社～白髭神社～芦ヶ久保駅（1 5：30頃） 行程：約5 km。標高差（駅～日向山）約330m
見所 その他	樹木ではヤブデマリ、ツクバネ、ツクバネウツギ、ウラジロノキ、 ツツジ類など。 草本では、う～ん、フタリシズカ、ミヤマナルコユリ、ミヤマエ ンレイソウあたりでしょうか。

※ 小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

2006/5/27(日) 多摩川・府中

項 目	説 明
集 合	am10時、京王線・中河原駅 改札口付近 ※会旗目標 改札口は一つです
交 通	京王線をご利用下さい 急行、準特急、特急は止まりませんのでご注意下さい。各駅停車、快速をご利用下さい
行く先 (解散場所)	多摩川河原、健康センターpm3時頃解散予定
見所 その他	お目当てのレンリソウが見られるといいのですが、ほかにもいろいろ河川敷の植物を観察します
地 図	
コース	京王線中河原駅前～(鎌倉街道)～関戸橋～多摩川河原～健康センター・バス停 コースは天候その他により変更する場合があります ご用の方は途中で抜けても構いません

※ 小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円。

* * * * *

〔お知らせ〕

●稲城野草散策の会では、会のバッジをお渡ししています。昨年以來5回以上この会に参加された方に差し上げていますので、「5回参加した」という方は世話役の尼子までお申し出下さい。